

# Vol.164 「10～60代のSDGsに関する意識」

「誰一人取り残さない」という理念のもと、2015年に国連で採択された持続可能な開発目標「SDGs (Sustainable Development Goals)」は、貧困や飢餓、海洋プラスチックゴミの削減や森林や生態系を気候変動から守ることなど、17の目標と169のターゲットについて、社会・経済・環境など統合的に取り組むものです。では、日本で「SDGs」はどれほど浸透しているのでしょうか？今回は、10～60代の「SDGs」の認知度や関心度、社会貢献に対する意識について調査しました。

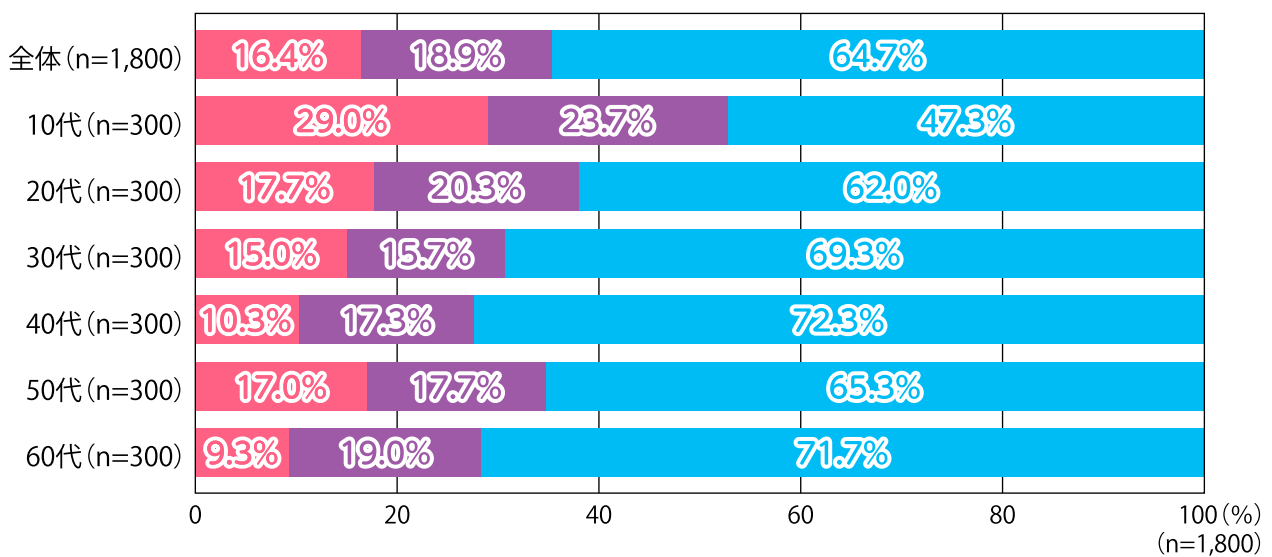


## 調査概要

調査対象：全国の10～60代の男女 1,800人  
 調査方法：インターネットリサーチ  
 実施時期：2019年7月

## Q 1. 「SDGs」の認知度

全国の10～60代の男女1,800人にSDGs (持続可能な開発目標)という言葉を知っているか聞いたところ、全体平均では「知っている」(16.4%)、「聞いたことはあるが内容は知らない」(18.9%)をあわせると認知度は3割を超えています。年代別に見ると10代は「知っている」(29.0%)、「聞いたことはあるが内容は知らない」(23.7%)をあわせると半数以上がSDGsという言葉を知っていると回答し、認知が最も低い40代では「知っている」(10.3%)、「聞いたことはあるが内容は知らない」(17.3%)をあわせても3割に満たない状態でした。



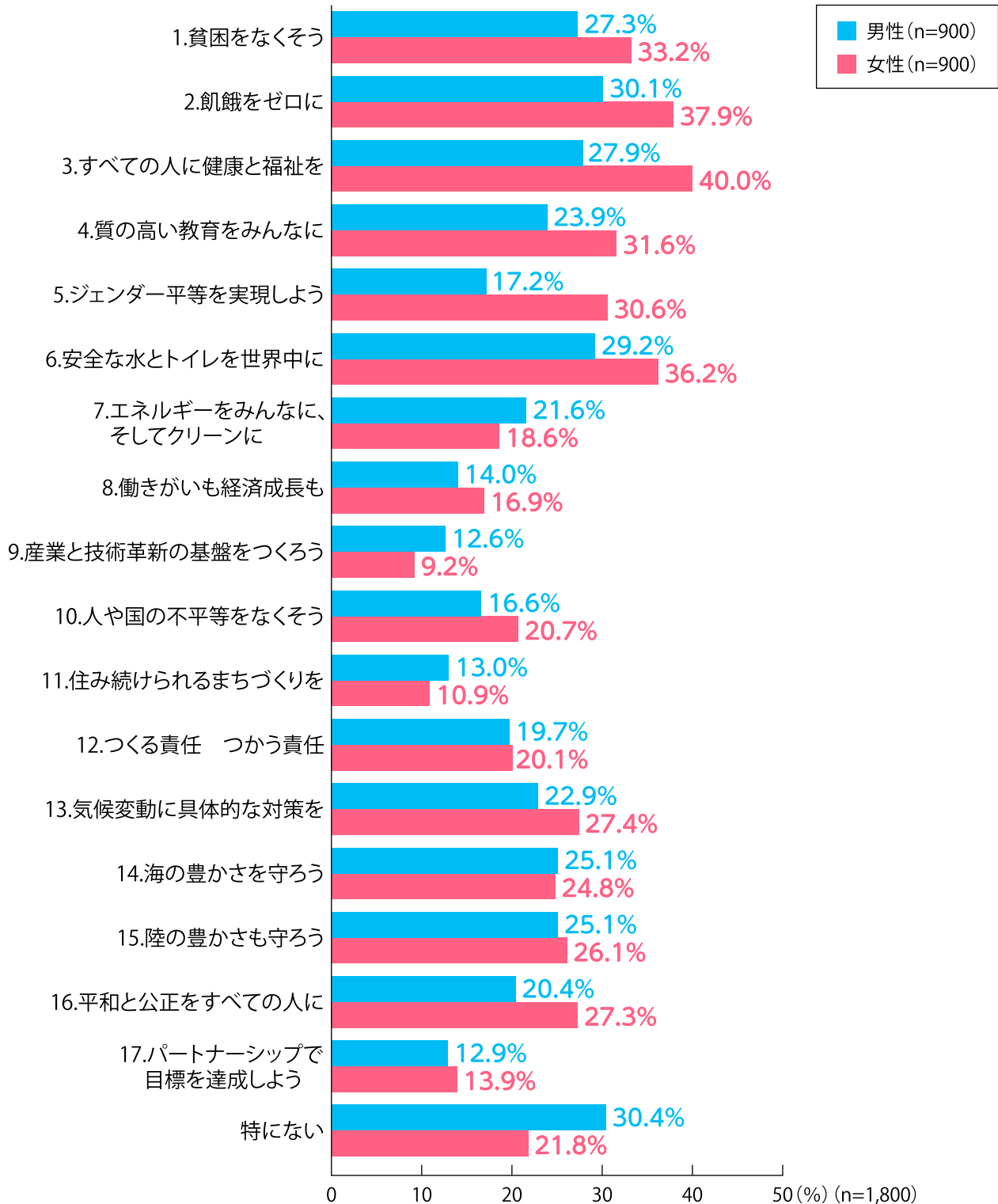
■ 知っている ■ 聞いたことはあるが内容は知らない ■ 全く知らない

※グラフの数字は、小数点第2位を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合があります。

【図1】 あなたは、SDGs (持続可能な開発目標)という言葉を知っていますか。(単数回答)

## Q2. 「SDGs」の関心度

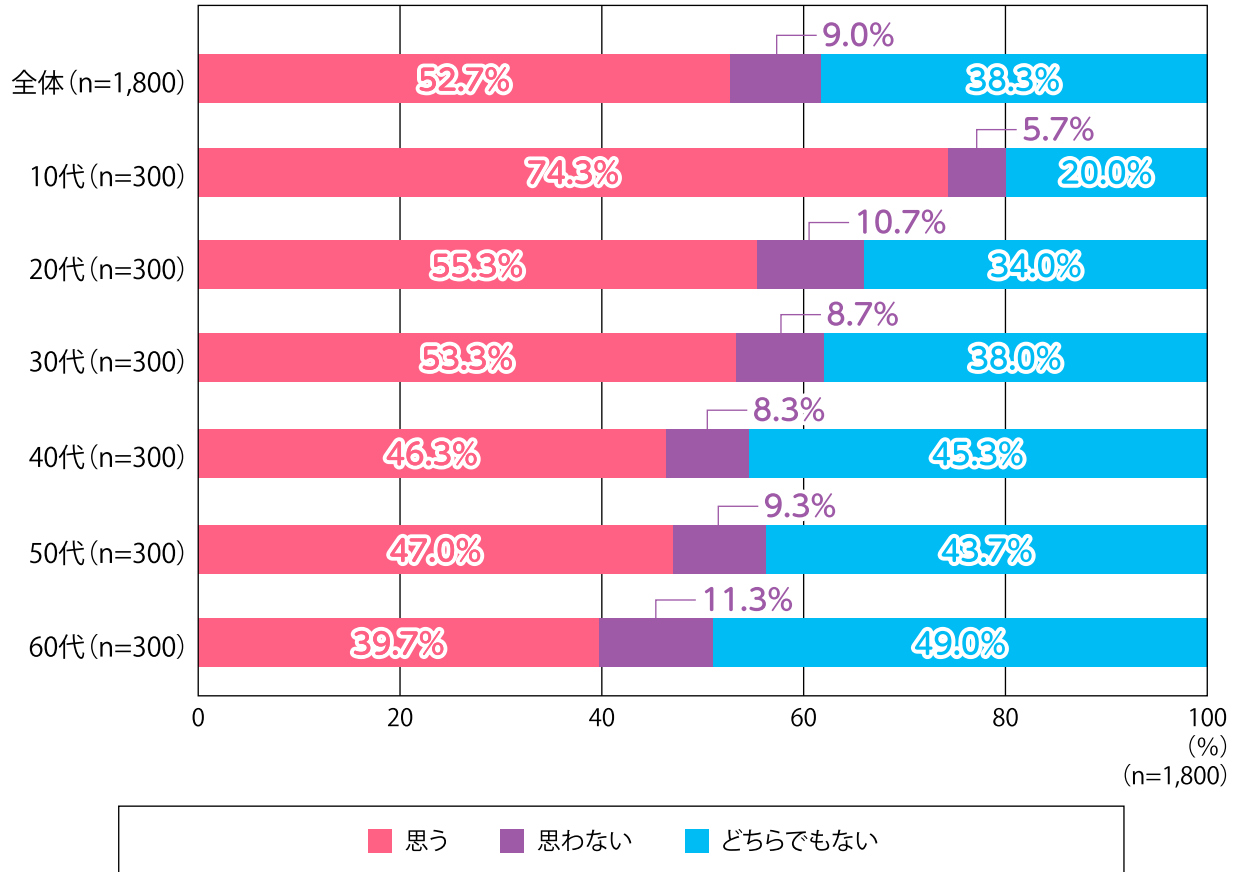
SDGs (持続可能な開発目標)の17の目標で関心のある目標について、女性は「3. すべての人に健康と福祉を:あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を推進する」(40.0%)、「2. 飢餓をゼロに:飢餓に終止符を打ち、食料の安定確保と栄養状態の改善を達成するとともに、持続可能な農業を推進する」(37.9%)、「6. 安全な水とトイレを世界中に:すべての人々に水と衛生へのアクセスを確保する」(36.2%)という目標が上位に選ばれ、男性に比べて相対的に関心が高い傾向にありました。一方、男性はSDGs (持続可能な開発目標)の17の目標で関心のある目標について「特になし」(30.4%)という回答が最も多いという結果になりました。



【図2】 SDGs (持続可能な開発目標)の17の目標のうち、あなたが関心のある目標は何ですか。(複数回答)


### Q 3. 社会貢献への意向

10～60代の社会貢献への意向は、10代は社会貢献をしたいと「思う」(74.3%)という回答が7割以上であるのに対し、60代は社会貢献をしたいと「思う」(39.7%)という回答が約4割と、年代が高くなるほど社会貢献への意向が低くなる傾向が見られました。



※グラフの数字は、小数点第2位を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合があります。

【図3】 あなたは、社会貢献したいと思いますか。(単数回答)

 まとめ

SDGs が国連で採択されてから今年で 4 年目です。しかし、日本では、SDGs という言葉すら知らない人や社会貢献への意向が低い大人が多いというのが現状です。

今回、全国の 10～60 代を対象に SDGs (持続可能な開発目標) の認知度を調べたところ、認知度が最も高いのは、10 代で「知っている」(29.0%)、「聞いたことはあるが内容は知らない」(23.7%) をあわせると半数以上が SDGs という言葉を知っている状態であるのに対し、その親世代の 40 代は「知っている」(10.3%)、「聞いたことはあるが内容は知らない」(17.3%) をあわせても SDGs の認知度は 3 割に満たない状態でした。また、SDGs (持続可能な開発目標) の 17 の目標で関心のある目標は、男女での関心度の違いが見られ、女性は男性に比べて SDGs への関心が高く、特に「3. すべての人に健康と福祉を」、「2. 飢餓をゼロに」、「6. 安全な水とトイレを世界中に」、「1. 貧困をなくそう」、「4. 質の高い教育をみんなに」、「5. ジェンダー平等を実現しよう」という目標への関心があると回答しています。社会貢献への意向については、10 代は社会貢献をしたいと「思う」(74.3%) で意識が高く、年齢が高くなるにつれて社会貢献への意向が低くなるようです。SDGs は、世界的な大きな目標と思われがちですが、日本では 10 代を筆頭に若い世代の認知度や社会貢献への意欲の高さが見られます。

2020 年度から小学校、2021 年度から中学校の学習指導要領で SDGs に関する教育が導入される予定です。子どもたちや学校だけでなく、大人も企業も地域も社会全体で、未来の社会が良くなるように、SDGs の目標を自分事として取り組むことが求められています。

毎月最終  
火曜日  
更新

## カンコーホームルーム ～学生を読み解くデータ集～

カンコーホームルームは、学生を取り巻く環境や子どもたちの意識・ライフスタイルについて、多角的に調査・分析し、その結果をお届けしています。  
ホームページでは、今回ご紹介した調査データ以外にも様々な情報を掲載しております。

<http://kanko-gakuseifuku.co.jp>